※令和３年度以前入学生用

学校番号	406

令和５年度　地歴公民科

教科	地歴公民	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「地理Ａ」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身近な地名・地理的事象に関心を持つ。
世界の気候・産業などに興味を抱き、系統的に理解する力を身につける。
地球上のさまざまな民族の生活や文化を知り、その背景にある地理的要因を考える。

２　学習の到達目標

世界各国・地域の民族や文化に関する基本的な知識を身につける。
現代世界の課題を地理的知識と結びつけて理解する。
地理的事象を分析する上で、必要な基礎知識を身につけ、実生活に役立てる方策を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	世界各地の人々の生活を通してどのような地理的条件の上に文化や産業が成り立っているのかを知ろうとする。	世界の多種・多様な地理的事象をその背景からとらえ、論理的な思考や判断力を身につける。	提示された地理に関する諸資料を分類したり、読み取ったりして実生活に即した活用の仕方を考える。	小・中学校で学ぶ社会・地理の基本的な学習内容も含めて、地図の読み取り方法、世界地誌など基本的な知識を理解・習得させる。
評価方法	授業プリント 定期考査 授業での発言 授業態度 受講回数	授業プリント 定期考査 授業での発言 授業態度 受講回数	授業プリント 定期考査 授業での発言 授業態度 受講回数	授業プリント 定期考査 授業での発言 授業態度 受講回数

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界の諸地域の姿と地球的課題	・地球儀や地図からとらえる現代社会 ・人間生活を取り巻く環境	○	 ○	○	 ○	a:地図についての基本的知識や読み取りの方法を身につけようとしている。 b:それぞれの図法の特質を理解し、球面を平面に展開する場合の c:地球上の位置を明示し緯線・経線および時差を理解しようとする d:貿易・観光・通信・交通など様々な面でのグローバル化の実情を具体例に即して学ぶ	授業プリント 定期考査
2学期	世界の諸地域の生活文化	中国の生活・文化 韓国の生活・文化 東南アジアの生活・文化 インド・西アジアの生活・文化 ヨーロッパの生活・文化	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:諸地域の自然環境（気候・地形）や産業の構造、などに興味を持ち、生活様式・文化を意欲的に知ろうとする。 b:小・中学校で得た知識や日常生活で見聞きする社会常識を用い、諸地域の民族・宗教をふまえた相関関係・因果関係を考え、判断ができる。 c:提示される写真・資料を読み取り、地理的な事象との結びつきが想起できる。 d:各地域・国家の地理的な事象を理解している。	授業プリント 定期考査

※令和３年度以前入学生用

3学期	世界の諸地域の生活・文化	南北アメリカの生活・文化 オーストラリアの生活・文化	○ 	 ○		○ ○	a:諸地域の自然環境（気候・地形）や産業の構造、などに興味を持ち、生活様式・文化を意欲的に知ろうとする。 b:小・中学校で得た知識や日常生活で見聞きする社会常識を用い、諸地域の民族・宗教をふまえた相関関係・因果関係を考え、判断ができる。 c:提示される写真・資料を読み取り、地理的な事象との結びつきが想起できる。 d:各地域・国家の地理的な事象を理解している。	授業プリント 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。